



さかわようちえんだより

(さくら組 第3学期号)



令和6年3月25日
小田原市立酒匂幼稚園
園長 古木 美貴

さくら組が植えたチューリップが、ほし組の卒園を祝うかのように次々と花を咲かせ始めました。卒園後の数日は、登園時も「もうこれでみんな来たの!？」と思うくらいあっという間だったり、北園庭がひっそりとしていたりして少し寂しさを感じる場面もありますが、さくら組は進級することに胸を膨らませているようです。ある日「ほし組になれるかチェック入ります!」と保育室に入ると、みんな表情を変えて「ちゃんとやってるよ!」「これ、自分でやったよ!」と意欲的にがんばっている姿がありました。そのままの気持ちで始業式を迎えられるよう、楽しい春休みをお過ごしください。

酒匂幼稚園で目指していく子ども像

健やかな心と体の子

教師との信頼関係の中、安心して自分の気持ちを伝えている様子が見られました。ばら組や遊戯室でも、全身を使って遊ぶことを楽しんでいました。



考えたことを実行する子

『何しようかな』『どうしようかな』と考えられ、それをどうにかして実現できるように試行錯誤しています。教師も一緒に作ったり、失敗したりして作り上げていきます。「ろくろっくびの首、どうする?」その後どうなったのでしょうか?



助け合う子

友達への声掛けが多く聞かれるようになりました。その分、意見の合わないことや、笑顔では済まないこともあるようです。様々な関わりの中で、『自分の気持ちを伝える』『相手の気持ちを知る』を学んでいます。



ほし組さんとたくさんあそびましたね☆



ほし組のお店屋さんと呼んでもらったり、一緒に公園に散歩に行ったり、妖怪ランドにお客さんで来てもらったりしました。妖怪ランドでは、ほし組を驚かせるさくら組のわくわくした表情や気持ちが溢れていました。驚いてもらったり、感心してもらったりと、大満足のさくら組でした。

ほし組のみなさん そつえんおめでとう！



ほし組のために『お別れ会』を計画しました。司会もさくら組みんなで分担をし、それぞれが役割をもって言っていました。一緒に○×ゲームをしたり、歌を歌ったり…。運動会で踊った『かんしゃでようしゃ！』を完璧にマスターしたさくら組と、久しぶりでも振りを忘れていないほし組とのコラボは見ごたえ抜群でした。掛け声が今までで一番大きくて揃っていて、びっくり！！最後には、コサージュのプレゼントを渡しました。卒園式の活動の様子も見に行くことがあり、進級への期待が上がっているようです。

進級に向けて



「ほら、葉っぱが黄色になっているよ」「先生、芽が出てきたよ」「花が咲いたね～」日頃の会話の中で、さくら組とは自然の話をする事が多いなと気づかれ、色々な目で観察しているのだと関心させられます。春休みの間、親子で草花の様子や雲の様子、桜の開花の様子などを楽しんではいかがでしょうか。特別なことではなく、そんなゆったりとした時間の思い出が残るのかなと思います。感受性を豊かにするためにも、基本的な生活習慣が大切になります。春休み中も生活リズムが崩れないようにしましょうね。保護者の皆様、1年間ご協力ありがとうございました☆4月にお会いするのを楽しみにお待ちしております。